

# 簡易嚥下誘発試験(東大法)

患者を仰臥位にする

5Frのカテーテルを経鼻で上咽頭へ挿入する(約13cm)

呼気終末に合わせて蒸留水(室温)を1-2秒で一気に注入する

First Step: 0.4mL

Second Step: 2mL

蒸留水注入から嚥下が出現するまでの時間を測定し、

3秒以内であれば正常とする(健常者で1.7

First Stepへの感度は100%、特異度は83.8%

Second Stepへの感度は76.4%、特異度は100%

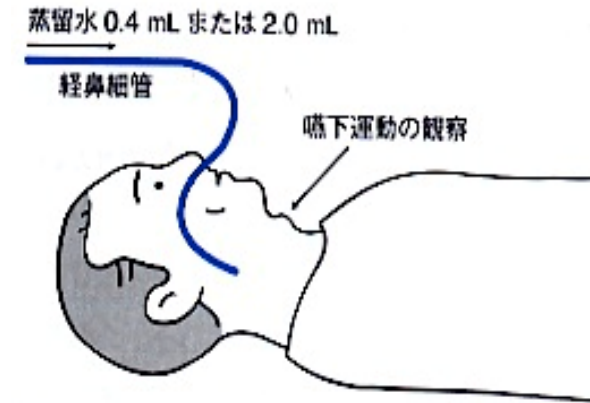
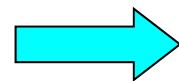


図 IX-3 簡易嚥下誘発試験(東大法)



First Stepに対し正常な反応を示す群は誤嚥のLow Risk群  
Second Stepに対し異常な反応を示す群は誤嚥のHigh Risk群